

UCCX 8.0 : 起動中の Agent Desktop での証明書エラー

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

概要

Cisco Unified Contact Center Express (UCCX) 8.0 では、Cisco Agent Desktop は起動時に複数の証明書の警告を送出します。このドキュメントでは、この問題のトラブルシューティング方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Unified Contact Center Express 8.0 に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

問題

UCCX 8.5.1 SU2 から SU3 へのアップグレード後、エージェントが統合ブラウザを備える CAD で Ctrl+N を押すと、予期せず CAD が閉じてしまいます。想定される動作は、新規タブが開くことです。

解決策

この問題を解決するには、次の手順のいずれかを実行します。

- 新規タブが必要な場合、「Popups In New Windows」の選択を解除します。
- 「Popups In New Windows」が必要な場合、新規タブを開くために、CTRL+N を使用しないようにします。

注: この問題は、Cisco Bug ID [CSCua86175](#) ([登録ユーザのみ](#)) に記載されています。

問題

Cisco UCCX 8.0 では、Cisco Agent Desktop は起動時に複数の証明書の警告を送出します。これは、Cisco Agent Desktop にアクセスしようとするたびに、自己署名証明書を承認、拒否、または検証するための [Security Alert] ダイアログ ボックスが表示されることを意味します。このダイアログボックスはサーバに接続するたびに表示されます。[Yes] を選択すると、そのセッションの自己署名証明書を承認します。

この問題は、Cisco Bug ID [CSCtj10020](#) ([登録ユーザ専用](#)) に記載されています。

解決策

次の回避策を実行します。

1. UCCX サーバから自己署名証明書をインストールします。注: 自己署名証明書をインストールすると、[Security Alert] ダイアログ ボックスは表示されなくなります。自己署名証明書をインストールするには、次の手順を実行します。[Security Alert] ダイアログ ボックスで、([Yes] の代わりに) [View Certificate] を選択します。新しいウィンドウが表示され、そこには [Issued to = issued by] と表示されます。これは、自己署名証明書であることを意味します。[Install Certificate] を選択します。自己署名証明書がインストールされます。
2. Java アプレットが警告を投げた場合、パブリッシャを信頼します。

関連情報

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)